



家庭系ごみの有料化や戸別収集導入への市の考えは

志政あやせ 橘川 佳彦

●ごみ行政の取り組みについて

Q 家庭系ごみの有料化と戸別収集を導入している自治体があるが、本市の考えは。

A 家庭系ごみの排出量を抑制するための有料化は、効果が薄い。戸別収集は、高齢化でごみ出しが困難になる方の増加が予想されるため、調査・研究を継続していきたい。

Q 高座清掃施設組合を構成する自治体で、一般廃棄物処理基本計画を策定したが、本市の取り組み状況は。

A 1人1日当たりのごみ排出量は目標値を達成しているが、事業系一般廃棄物はまだ達成していない。多量排出事業者から、毎年減量化等計



昨年11月25日、「農商工連携 あやせ産業まつり～商工フェア・農業収穫祭～」が開催され、大釜で調理する「豚すき」が配布されました。市民文化センター第2駐車場にて。



認知症サポーター養成講座を中学校で行わないか

志政あやせ 古市 正

●認知症対策について

Q 学校で高齢者への理解などを学習する際、認知症を学ぶ必要性があると考えるが、認知症サポーター養成講座を中学校で行わないか。

A 中学校で全生徒へ行う考えはないが、認知症を含む高齢者への理解や高齢者との協働は、新学習指導要領に盛り込まれており、小学校から高齢者への理解が深められるよう、指導の充実を促したい。

Q 認知症予防マシンのコグニバイクを導入しないか。

A コグニバイクは、脳と体を同時に使うことで、認知症リスクの軽減が図られ、認知症予防に取り組みむきっかけになると考える。県からマシ



自転車事故から命を守るヘルメットの購入費助成を

公明党 三谷 小鶴

●事故や犯罪のないまちづくりについて

Q 高齢者や子どもの自転車事故が増加している。ヘルメット着用推進のため、65歳以上と中学生以下を対象に購入費の一部助成を進めては。

A 自転車の利用は、個人の自己責任で乗車することが前提であるため、現在、購入費の助成は考えていない。

Q 犯罪が起きやすい危険な場所を知り、安全な行動を選択することで、不審者に犯行の機会を与えない「犯罪機会論」という考え方がある。この考えを防犯講習会などで市民に周知してはどうか。

A 自治会などの協力で犯罪抑止効果のある事業展開を



高齢者の民間バス利用を補助し外出機会の創出を

越川 好昭

●高齢者のバス利用補助をしないか

Q 横浜市はバスなどが無料となる敬老特別乗車証を発行し、移動を支援している。市も同様の補助をしては。

A 民間バスの利用補助は考えていないが、移動支援団体の立ち上げ支援を行い、高齢者が快適に外出できる環境づくりを実施していく。

Q 公園の清掃について

A 個人ボランティアの方に対しては、ボランティアの方に対する支援を行っている。今後、声掛けなどを行い、可能な限り支援していきたい。



市公認キャラクター「ブタッコリ」

市議会本会議の様子をインターネットで!

市議会では、市民の皆さんに議会の様子をお伝えるため、本会議のインターネット配信を行っています。本会議中の議場の様子をそのまま公開する「生中継」と、会議日程などから見たい場面を探すことのできる「録画中継」を配信しています。録画中継は、本会議終了後4日程度(土・日曜日、休日除く)で視聴できます。

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。検索